



近藤じゅん子通信 Vol.12

近藤じゅん子が提案した「シブヤ母子健康ノート」がスタート!!

災害時要配慮者対策を提案!
単身高齢者等の住宅確保策も提案!

第3回定例会・近藤じゅん子の代表質問より

令和元年9月10日(趣意)



防災

災害時要配慮者対策について

質問 発災時、自宅で暮らすことができたとしても、支援が必要な要配慮者は、数多くいらっしゃると思っています。

そこで、①自宅避難の要配慮者への支援は、区内に点在している通所系の事業所を、②自宅では暮らせず、避難が必要な要配慮者には、区内の有料老人ホーム等との協力体制を築いていかれてはどうかと考えます。また、支援は、年齢で分けるのではなく、配慮の特性に応じた支援方法を基本に考えて頂けたらと思います。

答弁 (区長) 宿泊が可能な通所施設や民間施設との協定による拡

浴施設も兼ね備えており、支援ボランティアとして学生の協力も期待できるかも知れません。

女子大学だけではなく、渋谷区子育てネウボラ施設、幡ヶ谷・恵比寿保健相談所も視野に入れても良いのではないかと考えます。

答弁 (区長) 議員ご質問のとおり、妊産婦や乳幼児を抱えた人には、乳児の泣き声や授乳時のプライバシーに配慮した環境が求められます。

母子救護所の確保については、区内の女子大学や、渋谷区子育てネウボラ・恵比寿保健相談所を含めて検討してまいります。

「365日防災の街渋谷」について

質問 有事の際には、若い世代のパワー程、有難いものはありません。

そこで、S-I-S-A-Pを結んでい

る大学の学生さんが、町会や地域の行事や防災訓練等に参加しやすい仕組みを構築していくことを提案します。

渋谷区ならではの多言語対応等の課題も含め、大学や学生さんが持ち得る知見やスキルを防災の観点からも最大限に発揮して頂けるよう願っています。

答弁 (区長) 大学との連携を強化していくことは重要と考えます。大学生と行政が連携を密にし、有事の際に協力を頂ける仕組みづくりを推進してまいります。

教育

「いじめ防止条例」制定に向けて

質問 平成29年第4回定例会に於いて、「いじめを許さない街。渋谷区」の条例の制定を提案させて頂いた際、区内中学校の代表者、生徒会による「いじめゼロ中学生サミット」を開催して、学校ごとの取り組みやアイデアを共有するなど、優秀な児童・生徒の力を引き出していただけたらどうかと提案をいたしました。

実施に向けての見解を改めてお示しください。また、学校ごとにアンケートを実施する場合には、その項目等も子ども達を中心となって作成することも併せて提案をさせていただきます。

答弁 (教育長) 昨年は、区立中学校の生徒会長役員が一堂に会して、「より良い学校にするために」というテーマで、SNSによる誹謗中傷を受けた生徒の経験から、トラブル防止に向けた取り組みを紹介し、いじめについて深く考える機会となりました。

今年12月の、実施に向けて支援してまいります。また、アンケート項目を子ども達を中心となって作成することについては、有効な一つの手立てとなることから、学校に働きかけてまいります。

福祉

認知症支援について

質問 本年、初の試みとなりました「認知症なっても展」の内容について提案させて頂きます。

1点目は、福祉人材の確保・育成・定着の視点を入れて、福祉の仕事の魅力が伝わるような企画も盛り込んで頂くことです。

2点目は、認知症の方への防災・避難といった視点での講演会等を実施することです。

答弁（区長）大きな課題となっている福祉人材の確保の取り組みを絡めるとともに、議員ご提案の防災に関する講演についても、実施に向けた検討を行い、多くの区民にご参会いただけるよう実施したいと思えます。

住宅政策について

質問 高齢者の単身世帯や障がい者の方は、家賃滞納や孤独死等への不安から、オーナーの多くが入居に拒否感を抱いており、住宅確保に支障が生じているケースが見受けられます。

今回提案をさせて頂きたいのは、住まいに関する3つのサービスを1つにパッケージして提供し、入居者自身の安心とともに、家主や管理事業者が単身高齢者等に安心して貸すことができる制度の創設を提案します。

具体的には、①見守りサービス②亡くなった際の葬儀対応・費用保障③亡くなった際の片づけ・費用保障です。

孤独死は、後期高齢者が圧倒的に多いと思込んでいました。60代が最多。そのうち男性が8割。また、50代男性は、80代よりも比率が高い事が分かりました。

これらを鑑み、対象は、高齢者に絞らず、単身世帯と設定し、登録料等の助成も検討して頂きたいと思えます。「渋谷区版住宅セーフティネット制度」の創設について、ご所見を伺います。

答弁（区長）区内で活動できる居住支援法人や不動産事業者と協力し、渋谷区版の住宅セーフティネットを構築したいと考えています。

ご提案いただいた助成制度や対象につきましても、障がい者等を含む住宅確保要配慮者の実態調査を行ったうえで、最も効果的な方法を検討してまいります。

子育て支援

「母子健康手帳」について

した。多くの方々に喜んで頂けるかと期待しています。この「シブヤ母子健康ノート」事業の詳細を教えてください。

答弁（区長）議員ご提案の電子母子健康「シブヤ母子健康ノート」については、渋谷区が全国に先駆けてLINEと連携させた事業として、9月2日から開始いたしました。

主な機能としては、妊産婦が検診結果を記録することで、グラフ化し体調管理ができることや、子供の成長記録を写真とともに家族のスマートフォンで共有・閲覧できます。

さらに、自動で予防接種スケジュールを計算し、通知されるなど、デジタルならではの機能を活かして母子健康手帳を補完するものとなっております。

子どもの権利条約について

質問 子どもの権利条約は、世界で最も短期間に広く批准された人権条約で、現在は196の国と地域が批准しています。

1989年に国連総会で採択されたのは1994年です。子どもの権利条約は、子どもは保護される存在であるだけでなく、子どもが権利の主体である、という基本的な考え方に立っています。

この権利は、「いのちのはじまり」の瞬間から子どもが持っているものです。特に、乳幼児期の子どもは、言葉にならない表現方法で、自分の気持ちや考えを伝えていきます。

是非、「子どもの権利条約」を母子健康手帳に掲載して頂き、父母などが、子どもの検診や予防接種の順番を待っている時間等に、目にとめてもらえるように、まずは、「シブヤ母子健康ノート」に掲載して頂くことを提案します。今後は、通常の「母子健康手帳」への掲載も検討をお願いいたします。

答弁（区長）ご指摘の電子母子健康への掲載については、「渋谷母子健康ノート」の子育て情報欄に、ユニセフの許諾を得たうえで、「子どもの権利条約」サイトへのリンクを張ることといたします。また、母子健康手帳への掲載につきましては、今後検討してまいります。

「子どもの権利条約」全文はこちらからご覧いただけます。



「子どもの権利条約」全文はこちらからご覧いただけます。



ひとり一人を大切に、皆様の声を区政に活かします。

—— 区政に対するご要望、お困りごと、お気軽にご相談ください ——

渋谷区議会議員 近藤じゅん子

- 福祉保健委員会 委員長
- 自治権確立特別委員会

渋谷区議会公明党控室
 TEL. 03-3463-1036 FAX. 03-5458-4962
 携帯 090-2221-7507
 近藤じゅん子のブログ
<http://ameblo.jp/kondo-junkon>



ホームページ



アメブロ



Twitter



Facebook